常磐毎日新聞

十一月十四日　夕刊

定價　一部金五錢　一ヶ月金五拾錢　郵送料　一ヶ月金拾錢
廣告料　一行　金壹圓
發行所　常磐毎日新聞社
電話　平市　五三〇番
印刷所　常磐毎日印刷株式會社
電話　平市　四二二〇番

親の老後に思ひを馳せ
保險料は前線から送金
保險を附して應召
散華勇士にこの美談

既報、ノモンハンの國境線で散華、護國の柱となつた四倉町字仲町出身大和田茂伍長は二十六日合同町葬を執行するが茂伍長は町でも評判の親孝行で應召前迄日立製作所に勤務無駄な金はビタ一文も使はず月々實家へ送金して親達を慰めてゐた

一昨年〇月應召勇躍壯途にのぼる際自分の親孝行もこれ迄である自分は決して生還を期さない若し自分が死んだ結果親達を一生不幸に導く樣な事があつてはそれこそ親不孝になるからと出發前夜某生命保險會社へ二千五百圓を契約受取人を實父熊次郎さんとして戰地に赴いた、同伍長は戰地に於てもこの事は唯一人に話さず掛金も手當などを貯へて第一線から保險會社へ支拂つてた程であつたこの親に對する行屆いた孝心は同伍長が戰死を覺悟して書いた遺書を原隊から實家に屆けられそれを開封して見て始めて判つたのであるが二男坊の茂伍長の最後の親孝行だと言ふその孝心を聞いた人々は何れも感激の聲を放つてゐる

四ケ村聯合
農産物品評
十八日から開催

永戸、箕輪、三阪、澤渡兩組合村聯合の農産物品評會は十八日から三日間合戸小學校で開催されるが川前村の農産物品評會も二十日下柳小學校で開催される

國道改修と商港修築
大藏省で待つた
關係市町村猛運動開始？

內務省關係の來年度豫算は十三日大藏省から査定の結果を內示されたが、物資の關係から土木豫算は殆ど削除され地方民が多大の期待をしてゐた小名濱港並に國道六號改修も削除されるに至つた

小名濱町で
善後策考究
大勢は目的貫徹へ

（別項）小名濱築港工事は遂に大藏省の査定で削除の運命に陷り同町では大衝擊を受けてゐるが町當局では左の如く語つてゐる

小野町長が十二日夜上京したが未だ何とも言つて來ない、町長の歸りを待つて今後の對策を講ずる可く歸りを待つてゐる、町は勿論漁業組合で決潰した岸壁を放任したのでは折角の苟も何の役に立たないのみか今後の發展に大障害を來たすのでこのままでは濟ませない、災害復舊であるから同省でも少しは考へてくれたら良い、兎に角町長から實情を聽いて對策を講じ破損個所の根本的修理だけでもやるやう飽くまで目的貫徹につとめる

キミ子さん
腕時計献納

四倉町藝妓牛來キミ子さん(二)はこの程銀側腕時計に現金二圓を添へ恤兵金として四倉署へ寄託した

銀狐の
展覽會
平驛前に開く

副業の王座！銀黑狐の展覽會並に即賣會は明十五日から四日間平市驛前劇場跡で北日本養狐場主催の下に開催されるが出品頭數は多産系ピカ一の銀黑狐六十頭の外農林省系統紅狐十字狐等參考出品される

市、郡を通じ
一万四千石增收
十月末現在の收獲豫想

本縣統計課調査の十月末日現在米收穫豫想高は十三日發表されたが平市は八、〇五九石、石城は二〇一、八四三石で前年に比べ平市が五九五石、石城が一三、六〇九石增加してゐるばかりか空前の豫作といはれた昭和八年よりも增加し未曾有の大收穫である

これは氣候が適順であつたためでことに開花登熟及び結實の各期を通じ天候に惠れた關係であり これで地方民は限糧米不足に悩まされることはないと見れる

〝返事は無用〟……
と戰死直前の便り

既報、磯田町字壓部出身元永茂夫一等兵は八月冊

人夫の飢饉も緩和
一生産軌道に乘る
産地で早くも增産の聲

石城郡下に於ける木炭生産高は年々六十萬俵を超へてゐるが本年は殷賑産業方面の賃金高から各方面に比し安賃金の製炭夫がどし〳〵離轉職した爲各地とも甚だしい拂底を來し十月末現在で二十萬俵の生産減となつたので木炭業者は需要最盛を控へて大きな憾みを持つてゐたが十一月の炭値上りから賃金もこれと平均して値上りを示し漸く人夫の就業も軌道に乘る事となり山間部の産地は既に相當大量の生産へ着手されたので極寒にさしかゝつての木炭不足は全般的に解消されるものゝ如く一般消費者並に業者はホツト一息ついた形である

倉庫から發火
損害二萬圓
昨日磐炭の火事

十三日午後一時頃內郷村磐城炭坑綴坑の機械置室から發火、同小屋及び鑛岩機のモーターその他諸機械を燒失同二時鎭火した、原因は平署で取調べの結果漏電と判明したが損害數萬圓の見込み

薄氷も張つた
今朝の寒さ
急行は一時間遅れ

愈よ冬の訪れとなり今朝は平地方でさへ薄氷が張つた程であるこの寒さはオホツク海方面に於ける低氣壓の襲來によるものでこれが爲北海道から青森、岩手は昨日猛吹雪に見舞はれた、今朝七時二分平驛發の上り急行は吹雪による青函連絡船の遲延で約一時間遲れたがこの急激な冬の訪れも後二三日は續く模樣である

日滿ソ國境線で名譽の戰死を遂げられたが戰死直前書いた〝覺悟の便り〟が留守宅に到着關係者を感激させてゐる

八月四日午前十時ハイラルを出發、〇〇方面に出動します、二度と歸らぬ覺悟です、既に多くの戰友達が戰死されました、頑敵です、戰友一同皆死を誓つて戰線に出ます、これが最後の手紙となると思ひます、返事は無用です、元氣で行つて參ります

なほ同君は滿洲事變にも從軍さらに今事變で去る十二年四月牡丹江附近の山岳戰で左脚貫通創をうけ第一線に再出動した勇士で父佐太郎さん(四八)母リノ(四八)の獨り息子である

羊毛の知識普及
愛婦平分會の講演

愛國婦人會平市分會では長期戰下に必要欠くべからざる軍事用具材特に國策遂行上最も重要な羊毛に關する一般的智識の普及及び反毛報國運動を徹底せしめやうと十六日午後二時から市公會堂に日本羊毛普及會理事長高橋六郎氏を迎へ「羊毛資源確保、反毛報國運動協議並に講演會」を開催するが講演の要旨は羊毛智識の普及、反毛國策の重要性、緬羊飼育の指導奬勵、毛織物の手入法等である

創立總會を開催すべく着々準備が進められてゐるが理在網羅されることになつてゐるのは呉服、酒類、木炭、陶器、食料品、洋品、小間物、洋服、文房具、藥種、化粧品、自轉車、荒物、雜貨、金物、豆腐商等々十七種から二十種に及ぶ廣汎なもので約四百名の出資は一口二十圓、二萬圓の豫定である、事業としては共同購入を第一の主眼とするが結局自衛的商業團體としての誕生である

錦商業組合結成　錦村では高木武一郎氏等の奔走により待望の商業組合を結成するに決し十八日午前九時から創立總會を開く、組合員は同村の各種業者八十名で口數は三百五十口とある

映畫上映中
活動小屋から發火
附近長屋十二戸燒失
昨夜川部の大火

十三日午後七時半頃川部村大字小川上手英太郎氏(三七)所有の劇場〝小川館〟映寫室から發火同館を全燒した外附近の小松醬院、澁谷飲食店、田子石材店、塗部炭礦飯場及び長屋等十二戸を燒き盡し九時二十分頃漸く鎭火した原因は映寫中フイルムに引火したもので當日は附近炭礦會社の會計日であり觀覽者が殺到してゐたことゝてソレ！火事とばかりいづれも右往左往大混雜を呈したが幸ひ怪我人や死者は一人もなかつた、損害は約二萬圓に達する見込みである

奉公日を利し
防火デー施行
盛澤山の實施事項

戰時下の防火思想普及のため縣警察部では十二月一日の興亞奉公日を防火デーとして縣下全面的に防火運動を行ふことになつたので早くも平署では準備を進めてゐるが、同防火デーには警察署、市當局、各學校、警防團その他の各團體を總動員し次の諸行事を實施し防火思想の普及と警防技術の向上普及を期さんとするものでその成果を期待されてゐる

實施事項

一、ポスター、紙芝居等により防火思想の普及を圖る

一、當日警防團ではそれ〴〵社前において令旨奉讀並に國防及び防火祈願祭を執行する

一、警防機械器具の手入修理の實施

一、消防諸車に對する避難訓練（一般交通者の消防諸車に對する避難方を訓練する）

一、各學校では防火に關する講話を行ひ、また避難訓練をも實施する

一、家庭防空群の防火座談會を適當の場所に開催せしめる

一、右の外に警察署では工場、鑛山その他自衛消防の訓練演習の指導を行ふ

勿來校の
勤勞奉仕

勿來町小學校高等科全兒童は今十四日出征及び人營兵家族並に戰病死勇士の遺族へ稻抜きの勤勞奉仕を行つた

佐藤理事着任

既報磐三郡木炭同業組合の新任理事佐藤寛氏は今十四日着任された

自治革新會發會式

玉川村ではこの程自治革新會を組織明十五日午後一時から小學校でこれが發會式を擧行する

農事特別傳習會

縣農試石城分場の農事特別傳習會は廿六日同場講義室で開催される、講師は本場の岩垣技師課目は果樹栽培についてである

福島炭礦郷軍
活躍

日曹

赤井村日曹福島炭礦郷軍分會では昨今の炭價の値上りを好機に古く貯藏してある粗炭を炭礦から拂下げを受け分會長以下會員總動員でこれを賣り捌き得た純益で今度豪華な慰問袋二十餘個を作製十三日同炭礦及び關係方面からの出征及び人營勇士に對し一齊に發送した、なほ今後會員一丸となり銃後の護りに一層の努力を拂ふことを申合せた

植田の競獵會
一等は平子氏

既報、植田獵友會支部ではこの程縣下のトップを切つて勿來町附近の山野で競獵會を催したが入賞者は左の如くそれ〴〵賞品を授與された

△一等平子三郎△二等荒川仁平△三等三寺富士田尙△四等大野武吉△五等阿部久七

銀紙一貫匁
スエさん銃後

奉公會へ寄附

平市五色町長谷川スエさんは今十四日僅かですがこれを當つて銃後奉公會の活動資金にして下さいと銀紙一貫匁を市役所に寄託した

賃金臨時措置說明
平署では今十四日午前十時から管內の工場並に事業主を集め去る九月二十日から實施された「賃銀臨時措置令」の說明をした

平市人事

◎轉出

舊城跡・一海出正雄氏三女歌代子さん

彌宜町四鈴木保夫氏長男光君

△上平窪字八反田七〇國府田忠男氏四男收君

ラヂオ

今晚の部

▼後六、〇〇子供の時間
▼後六、二五講演「赤十字條約成立第七十五周年に際して」日本赤十字社副社長公爵德川圀順
▼後七、三〇特別講演「政府に於ける結核對策に就て」厚生次官岡田文秀
▼後七、四〇講演「米穀問題に關する生産者と消費者の立場」法學博士河田嗣郎
▼後八、〇〇獨唱「幕末愛國歌抄」柴田睦睦東京放送管絃樂團
▼後八、四〇青年の時間「青少年義勇軍の一員として」內藤寛他

明日の部

▼朝九、四五幼兒の時間作並演出松葉重雨伴奏鹽谷アイ
▼前一〇、二〇結核豫防講座二農村と結核醫學博士熊谷岱藏
▼前一一、〇〇小學生の時間
▼後〇、〇〇小學生の時間「高等科」名曲物語、「二人の擲彈兵」シューマン作曲、波岡龍作大阪音樂劇研究會
▼後三、〇〇婦人の時間橫山五市
▼後三、三〇教師の時間學校體育講座(三)競技東京高師教授野口源三郎
▼後六、〇〇子供の時間傳說童話（奉天より）
▼後六、二五講演「歐洲諸小國存在の歷史的意義」文學博士村川堅固
▼後七、三〇國民歌謠◎前線將士に送る夕◎後七、四〇講演「銃後を語る」赤星陸治
▼後八、〇〇落語「粗忽の使者」春風亭柳枝
▼後八、二〇歌謠曲渡邊はま子、德山璉、指揮高階哲夫一、故郷の母子二、號外屋三、戰場花づくしほか
▼後八、四三漫才銃後風景秋山右樂、秋山左樂
▼後九、〇三浪花節「屋川苦心仇討」壽々木越造

開院

齒科全般
口腔外科
齒列矯正

平郵便局ウラ通リ
平市南町四十五
鈴木齒科醫院
東京齒科醫學士　鈴木與一郎

募集
永續者には將來の保證を致します

ボーイさん
◎堅實は營業方針の　サロンのお客は當地樣一流の方々です
◎色々な方に接することが社交儀禮の實際に學び成功の糸口ともなります

調理見習婦人
◎定評ある　サロンの調理法を御傳授いたします
◎見習ひとして調理場に御勤務出來る御婦人に限る

◎14歳以上3.歳迄の健康な方…
◎3年以上勤續出來る方…
◎親權者若くは本人御來談下さい。……

平市銀座街
電話592
サロン

鐵管　エタニツトパイプ　代用

	耐壓封度	內經	一本ノ長サ	一本ノ價額	ギボルト繼手代
D級	250	50㎜	3m	4.72	2.90
〃	250	75	3	6.97	3.50
B級	100	100	3	7.90	6.25
〃	100	150	4	17.70	9.20

平市仲町通り
山田文一商店
電話262番

戰國問答傳
大井沢山科一龍作

第百十七回
江戸表（三）

たほど家臣の何か藩邸に云ふ事があるのを主君に押し止め「それについて一つの樂みを拙者々々出府いたしました。その仔細は遡つて申し聞しますが忠五郎どの、親のたのみぢや」

手を下げて

「そなたの遺體とあれは押しても出されぬ筋ぢやが、親の身を勘うくそなたの許で我慢してはたもるまいか」

と云つてまつと忠五郎の顏を何つた。

「おゝ嬉しゆうございますとも」

眉下にうたつていて

「拙內儀ひもそろつた町人質質の理解はかり、うくなもてなしも出來ない不調法の段を御容赦ゝして下されば、五郎はおうか中年二十年、いつまでさも御厚情なして下さいまし」

「それについてもう一つお願ひがありまする。それは外でもない、忠五郎の御親戚の身許を保證の御方がどなたさまか伺はあつて、斷絶なみ、何番にも打明けて下さらぬやうう。やはりこのまゝ親戚にて固るわけにはゆかぬものであらうかの」

「えゝもう、そんなことなら申しておきまして下されまするな。何もかも拙者一人の胸三寸、親にも授らず、ではお目をつゝむためとう云ふことにいたしませう」

忠五郎はすり寄つて師の耳元にて囁きをよせひそ〳〵と何か囁いた。丁度其の時に、茶の間つゞきの仕切り戸をあけて紋次へひよいと顏を出して女將のお福。手に茶器をのせて側盆をもつてゐたが、二人のこの樣子を見つけると何んと思つたか、ギロリと眼を光らした。

お福の目付きをさいて二人はさつとはなれた。

「あゝこれお福、この御方樣はな原の三樂大師から一度といふ遠の川端れの水車、その川端に八幡といふ所の藪の奥三郎樣と云ふ方。私が御厚情の藪樂へ呼ぶく坐つた。

すつて下さいまし」

「それにつけてもう一つお願ひがありまする。それは外でもない、忠五郎の御親戚の身許を保證の御方がどなたさまか伺はあつて、斷絶なみ、何番にも打明けて下さらぬやうう。やはりこのまゝ親戚にて固るわけにはゆかぬものであらうかの」

「えゝもう、そんなことなら申しておきまして下されまするな。何もかも拙者一人の胸三寸、親にも授らず、ではお目をつゝむためとう云ふことにいたしませう」

忠五郎はすり寄つて師の耳元にて囁きをよせひそ〳〵と何か囁いた。丁度其の時に、茶の間つゞきの仕切り戸をあけて紋次へひよいと顏を出して女將のお福。手に茶器をのせて側盆をもつてゐたが、二人のこの樣子を見つけると何んと思つたか、ギロリと眼を光らした。

お福の目付きをさいて二人はさつとはなれた。

「あゝこれお福、この御方樣はな原の三樂大師から一度といふ遠の川端れの水車、その川端に八幡といふ所の藪の奥三郎樣と云ふ方。私が御厚情の藪樂へ呼ぶく坐つた。

いや堀、親戚に云ふとは事から遠慮をしないで、いろ〳〵お世話になつたのちや、よくお福を申上げてくれ」

忠五郎はこう云つて傳二郎のお福を紹介した。とお福はしろと横目で傳二郎を見てそれでも口では

「おゝそうでございますか。三郎樣と仰ぎる御名前で――よくおたづね下さいました。良人はまたいかい御世話さになりましたそうで有難う存じます」

「これは御內儀とのでございまするか、御主人には父御かと御懇情にあづかり、かくてこちらこそ厚く御禮申上げます」

と眼しく挨拶した。それをお福はどう見たか目の縁を良人の方に持つて行つて

「そして一体どうして大郎の藪などにおありなされて、只一人にて江戸へなど出て來られたので御ま

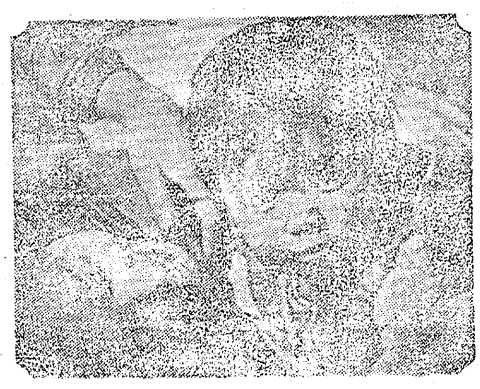
母親再教育の目標

伊藤部隊子

文部省では家庭教育の刷新として繁忙な婦人に簡易の講習を施す事を明かにした由である。これは、現時戦時に、そなへて、わが国固有の家庭美の再認識、徹底し、家庭と子供に供給なる為と解釈をもたせようためなので、指導をうける人は、保護者の会の会長、小、女会長の資格にあり、これによって婦人からあらゆる会を一層盛ならせ、また婦人団体機関をつくる際、何ともいはれてゐる。

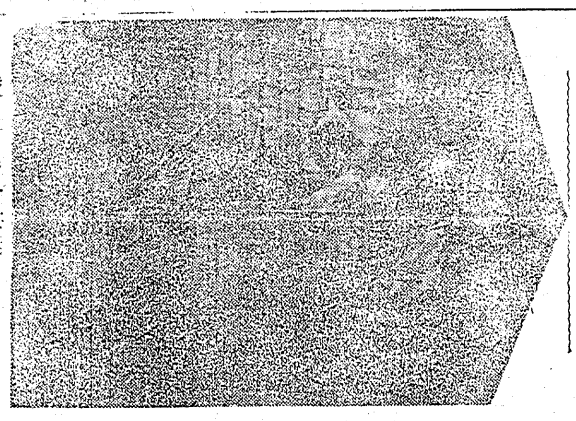
時代の命ずるとして、婦人にといことである。人生れてまづ受けるのは家庭の雰囲気である。日本における婦人の自覚の開拓も家庭にあるのであれば、家庭の中心であり次の時代をも育てる母親に、確かな感覚へと導へられ、ば婦人に大きな活潑みがかけられるわけである。

が、問題は、どいやう、指導者の必要が母を感奮させ、隣の必要が母を感奮させ、隣の必要が母を感奮させ、隣の必要が母を感奮させ、家庭外に働かせる任かりではない。婦人の必要おなじことをくりかへし、それでも変常がなかったら牛乳をだんだんこくして行きなれるこつれて量も増して一日二回、三回と牛乳の量をふやし牛乳をへらしてゆきまりには牛乳ばかりにします。上は牛乳のかわりに豆腐にしてもよいがこれだけでは栄養が足りませんから、くだもの、消たとへばリンゴとか、ミカン、なし、大根おろしの汁などをできるだけ早くからあたへるぶようしいのです、丈夫な赤ちゃんならその次がおまびりですが離乳なよはい赤ちゃんはおまびりの頃に一つの米粒を粥にくたいたいはゆる小粥をなるべく多くして主食をつかってトロ火で一時間ほど煮て五勺位の粥一さじの牛乳から二時間ほど煮て中に入れて食べさせますこれで充分なかったら、だんこくしてこれなら大丈夫といふ時に、おまびりをはじめるのです、おまびりは小米の場合と同様にしてトロ火で二回、三回と煮つぶしタにのせてとけるくらいになることが必要で乳からすぐ大人のごはんに一度とどこうるやうな無理をしてはいけません、離乳食の三回をこのおまびりにしその間の十時と午後の三時に牛乳とおまびりをあたへますこのときに牛乳にパンをいれて煮たりパンをいれてスープで煮てあたへるのもよいでせうおかしはもちがし、まんじうなど、あんはものはさけること、かるくて甘味の少いお菓子、ボーロ、ビスケット、ウェファスなどがよいのです、野菜の煮味もよろこばれます。



世のお母様方へ!!
秋が離乳の好季節
徐々に行ふのが鐵則です

穴は一年中で一番離乳に適した季節だといはれる夏の間離乳を試みてゐた家庭も多いことでせうからこゝで離乳の問題についてお話しさせう赤ちゃんは誕一ケ月もたてば離乳だけでは栄養分が不足しがちなのでふえぬはかりか時によると減少して色艶がわるくなり筋肉も弱くなってくるし、栄養不足をおこすことが多いのです、そこで不足した栄養分を他の食物によって補ふところに離乳の重要な意義があります、世界で一番早く離乳するのはアフリカのホッテントット人で三四ヶ月で離乳します、それと反対に一番おそいのはアラスカのエスキモー人で十四五歳まで母乳を飲んでゐます一般あたゝかい国の人に離乳がにやくさむい国の人がおそいのが常識になってゐます日本人は穀米にくらべてとかく栄養の不足がおいやうですが大体生後七八ケ月くらい、おそくも十ケ月位から徐々に取りかゝり満一ケ歳で完全にしなくてはなりません、さて離乳の方法ですが、初めに母乳の間に一日一回牛乳二合一の割合にうすめたものを五勺ほど飲ませます、その結果をみて赤ちゃんに可等離乳がなかったら翌日もう一回飲ませ何はどれたものを飲ませます、その結果をみて赤ちゃんに可等離乳がなかったら翌日もう一回おなじことをくりかへし、それでも変常がなかったら牛乳をだんだんこくして行きなれるこつれて量も増して一日二回、三回と牛乳の量をふやし牛乳をへらしてゆきまりには牛乳ばかりにします。上は牛乳のかわりに豆腐にしてもよいがこれだけでは栄養が足りませんから、くだもの、消たとへばリンゴとか、ミカン、なし、大根おろしの汁などをできるだけ早くからあたへるぶようしいのです、丈夫な赤ちゃんならその次がおまびりですが離乳なよはい赤ちゃんはおまびりの頃に一つの米粒を粥にくたいたいはゆる小粥をなるべく多くして主食をつかってトロ火で一時間ほど煮て五勺位の粥一さじの牛乳から二時間ほど煮て中に入れて食べさせますこれで充分なかったら、だんこくしてこれなら大丈夫といふ時に、おまびりをはじめるのです、おまびりは小米の場合と同様にしてトロ火で二回、三回と煮つぶしタにのせてとけるくらいになることが必要で乳からすぐ大人のごはんに一度とどこうるやうな無理をしてはいけません、離乳食の三回をこのおまびりにしその間の十時と午後の三時に牛乳とおまびりをあたへますこのときに牛乳にパンをいれて煮たりパンをいれてスープで煮てあたへるのもよいでせうおかしはもちがし、まんじうなど、あんはものはさけること、かるくて甘味の少いお菓子、ボーロ、ビスケット、ウェファスなどがよいのです、野菜の煮味もよろこばれます。



職員十の子供達

毛け抜の秋
夏まやけ不潔の後に
こて當手おの

秋には抜け毛になやむ方が多いものです、秋の抜け毛には季節的にどういふ原因があるかは別としてやはり手入れ一つで防ぐことができるものです

夏の暑汗とほこりで皮膚に不潔になりやすく殊に海水浴などに行かれた方に毛根をふさいで、皮膚をあるくすることが多いので秋になるべく植物性のものを用ひ、つやだし油や皮膚につけたりするのは感心しません、つや出しは頭髪の美感なものも少くないのでもう用すると毛を赤くばさばさにしてしまひます

抜け毛によい食物は野菜からの栄養やビタミンあるいは海藻ですが総合的に栄養が何より大切なのはいふまでもないことです

スフ浴衣の藏ひ洗ひ

秋は浴衣をおぼえる時になりました。スフ入りのゆかたのしまひ洗ひの仕方を申し上げませうスフ入りにかぎらずゆかたはなるべく清潔にするよりも、一回毎にあらひ洗ひしておく方がよこれがおちやすいので、冷水洗いはうすいノーダ水にひたしてさっと洗ひ洗ひ方ひ、次に石鹸液に浸して軽く揉でおく洗ひします。

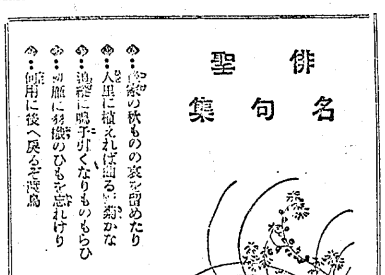
スフの洗濯には熱湯を使はず水洗は霜焼の原因になります。

スフやスフ入りのゆかたの洗濯はもみ洗ひはぜひ避けたいものです。もしおし洗ひ洗ひなら揉洗ひ洗ひ方法により、揉手をおしつけて石鹸分を浮かせ丁寧に絞り上げます。洗濯のゆかたのやうに裕などの場合にもちひいふりすぎあげたゆかたはそうとせたゝみとし、洗濯の上にのせ、揉手をおしつけ絞り、丁寧さに絞り上げます。

……

……

……



俳聖名句集

◎…秋の秋ものの哀を問めたり　芭蕉

◎…人里に植えれば面るる秋かな　一茶

◎…鶏鶏に鳴子すりくなりものもらひ　一茶

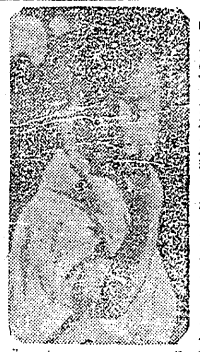
◎…初雁に羽根のひもを忘れけり　蕪村

◎…師用に後へ戻るを渡鳥　一茶

指をしやぶる幼児の癖は
悪いことではない と

今夏米国発電一百万人が二時間に亘わたり夏期休暇にあつまり親達にも子供達にもたのしい一夏をくらしたのでしたがこれはまた特殊の小児科醫師たちにも絶好の研究機会で

このほどニューヨークで開催の第米小児科醫師大会にも報告されました中でもおもしろいのはニューヨークのウイリアム、ラングフォード博士が発表した「幼児がゆびをかむ問題」に関する研究です、幼児に六七歳になったころの子供はよくゆびを噛み吸ひがこれは誤まりであるもとだとか反感の元だとか昔親は誤解とよつてこれをやめさせようとしますが誤なかなかやめられず親の苦悩の種となつてゐるのです、さて問題の幼児のやうに「幼児のやることを指図するのは苦あつても益はない、なぜとなれば幼児の振舞を監視するのはそもそも無理からぬてゐるらしいのだ、しかし親側がくるとかいふ反抗も一部に背されるが親の方がしたところでは問題さへ無視してあれば不解決のことにない、しかし大きくなつてもこのくせがつづけるのは、親側の無理解であるのだから、注意深く性格矯正が必要だ



小時論説　第八回　街

（紫上眞映画化）

北野傳樹　士別　作画

「眠り病はこわいなア」

「ぼくもあれにかゝりやしないかと心配してね」

「うひとりしたい」

「心配のあまり夜もねられないので疲つたよ」

「ばかなこと言ってるんだ、